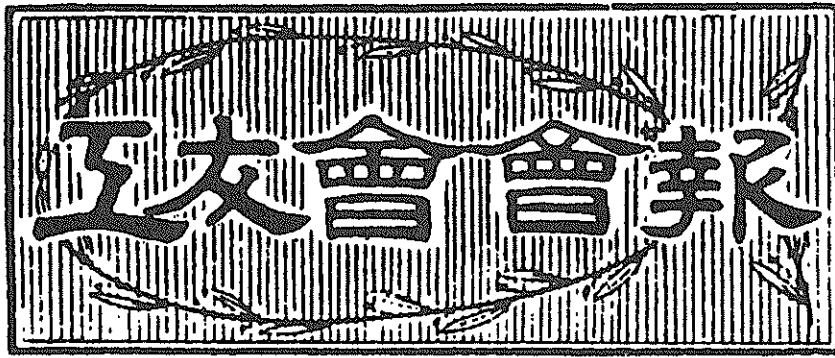


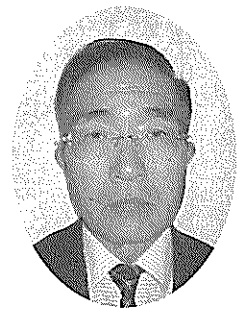
工友会会報



発行所
岡山県立岡山工業高等学校
工友会
岡山市伊福町4丁目3番92号
編集責任者: 万波 学
和気紀子
印刷所: 株式会社サラト

ご意見、情報はこちらまで
TEL 086-252-5231
FAX 086-252-7130

ごあいさつ



工友会会長
山内 静男
(昭和36年土木科卒)

工友会の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

私は、平成二十年度工友会総会におきまして会長を仰せつかりました昭和三十六年土木科卒業の山内でございます。

母校は県下で最初の工業高校として創立され、一〇七年の歴史があり、二万七千余名の卒業生を輩出し、各界のリーダーとして活躍されている多くの工友がおられる中で、浅学非才の私には、きわめて重責であります。工友皆様方のご支援ご協力をいただき務めてまいり所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

山本 鴻前会長には、平成十六年ご就任以来四年間にわたり、工

友会はもとより母校発展のため多大のご尽力をいただきました。ご苦労に対し心から敬意を表し感謝申し上げます。次期であります。今後は顧問として引き続きご支援ご指導頂くことといたしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平成二十年は国内外を問わず激動の一年でありました。

アメリカの大統領選挙において、全世界が注目する中、オバマ氏が初めての黒人大統領の誕生というビッグニュースでした。

又、国内では三年間に三人も首相が交代するなど、政界は大騒ぎでした。

明るいニュースは、ノーベル賞を日本人が四人も同時受賞するなど日本の誇れる話題でした。又北京オリンピックでは、開会式のスケールの大きさや、日本選手の活躍がまだ記憶に新しいところです。

平成二十年度工友会総会は、株式会社荒木組支部のお世話で、岡山プラザホテルで開催されました。

予算・決算の承認と役員改選では、会長交代と新たに副会長として昭和三十一年土木科卒業の、板矢文雄さんの新任をご承認いただきました。

又、平成十八年秋の叙勲で一名平成十九年秋の叙勲で二名の方が受章されましたが、三名の方にお祝いの記念品を工友会より贈呈させていただきました。今後ますますのご活躍を祈念

するところでございます。

総会後の懇親会では、母校の学校行事や、各科毎の学校生活、部活の活躍の状況が、ビデオで紹介されました。

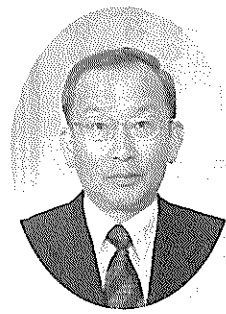
最近の母校が生き生きと躍動している様が、手に取るように分かりました。

平成二十一年度総会は、倉敷市役所支部(桜華会)(支部長 高原健次 昭和四十二年土木科卒)のお世話で、七月十二日に開催する予定でございます。多数の工友のご参加をお待ちしております。

最後に工友皆様のご健勝とご多幸、母校の発展をお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。



ご挨拶



校長
小林清太郎

厳しい冬の寒さもようやく和らぎ、芽吹き始めた校庭の木々や、暖かな日差しに春の訪れが感じられる季節となりました。工友会会員の皆様方には、益々ご健勝でご活躍のことと心からお喜び申し上げます。皆様方には、

平素から母校教育活動の充実・発展に深いご理解と物心両面にわたり多大なご支援・ご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、本誌面を拝借して学校の近況をご報告いたします。

生徒は将来の有為な工業人を目指して、日々「ものづくり」の基礎的・基本的な知識・技術・技能の習得に励んでいます。その成果の一端として、情報技術科3年生が技能検定「機械保全(電気系保全作業)」2級に県内の高校生では初めて合格しました。また、「第2回若年者ものづくり大会」の「フライス盤」と「情報技術」の職種にそれぞれ1名が県代表として出場しました。高校生ものづくりコンテストでは、「化学分析部門」と「測量競技部門」の2部門で県代表として中国地区大会に出場しましたが、惜しくも全国大会への出場はなりません。11月末に岡工で開催したジャパンマイコンカーラリー中国地区大会では、団体戦で2年連続で2位、個人戦

では電気科の生徒3名が全国大会への出場を果たしました。

また、全国の高校で初めて校内で半導体製作に成功するなど、昨年度までの3年間で多大な研究成果を上げた「ICT人材育成プロジェクト」は、平成20年度からは本校の生徒が中心となり、県内の半導体関連企業の支援を受けて「岡山県立岡山工業高等学校」ICT人材育成プロジェクトを推進後援会」を設立し、県内の情報系学科を設置する他の5校の生徒も含めて活動を継続しています。

部活動においては、体育系20部・文化系8部と12の同好会に多くの生徒が所属して熱心に活動しています。

体育系の部・同好会では、夏のインターハイ・全国大会に、自転車競技部7名、陸上競技部7名、弓道部6名、ボクシング部2名、少林寺拳法部6名の計5部・28名が出場しました。中でも、自転車競技部は1000mタイムトライアルと4000m団体追い抜きで共に4位入賞、ボクシング部はフライ級とライト級でそれぞれ5位入賞を果たしました。

国民体育大会には、自転車競技部4名、ボクシング部2名、陸上競技部1名の計3部から7名が出場し、自転車競技の少年男子スプリントで7位入賞という好成績を残しました。

また、少林寺拳法部の生徒2名が「2008少林寺拳法全国大会inおかやま」の組演武一般男子初段の部で6位入賞を果たし、陸上競技部の生徒が「第2回日本ユース陸上競技選手権大会」に出場しました。自転車競技部は中国大会で9連覇を達成し、野球部は夏の岡山県大会で優秀応援団として表彰されました。文化系の部・同好会では、全国高等学校総合文化祭に写真部の生徒5名が出場し、吹奏

楽部は県吹奏楽コンクール・高校小編成の部で4年連続金賞を受賞しました。化学工学研究同好会は、子どもたちに化学の楽しさを教える「化学の学校」を10年以上にわたって継続してきたことなどが認められて、日本善行会から「善行表彰」を受けました。

に努力を積み重ねており、学校は生き生きと活動する生徒の活気で溢れています。お近くにお越しの際には、是非とも母校にお立ち寄りいただき、在校生や教職員を激励していただければ幸いです。

平成21年度

工友会総会に向けて

倉敷市役所支部 会長

春の気配が感じられる季節となりました。舞い散る桜の花も美しいものですが、私は梅林の梅の香りに心を奪われます。甘い香りに身をゆだね、思いをめぐらすひとときは、私の春一番の楽しみでございます。

工友会の皆様も、いろいろな楽しみを味わいながら、「我が人生に悔いはなし」とますます御健勝のことと存じます。

この度平成21年度工友会総会を、担当いたします倉敷市役所支部(会員23名顧問1名)は、大原美術館を有する倉敷市にございます。会員数は近年減少の一途を辿り、総会担当をお受けするにあたり、困難もありました。しかし母校に対する愛校心と、母校に育てていただいた「師恩を忘れてはいけない」ということで、大役をお引き受けすることにいたしました。支部で知恵を

高原健次(昭和42年土木科卒)

しぼり、協力して工友会総会を迎えたいと思います。

さて昨今、私達をとりまく社会は厳しいものがあり、政治も経済もサイクルは短く混沌とし、明るい展望はみえてきません。改革、変革と聞こえてきますが、何も変わらないどころか、マインナスの方向へ進んでいる感さえあります。今は人が人としての尊厳を保ち、信念をもつて生きることが、肝要なのではないでしょうか。

ともあれ社会情勢はさておき、年に一回の工友会総会は、同窓生の皆様と一緒に会し、母校との縁を想起する、有意義な交流会です。

総会は平成21年7月12日(第2日曜)岡山プラザホテルにて開催いたします。皆様お誘いあわせの上、多数の御参加を、宜しくお願い申し上げます。



工友会総会を終えて

株式会社荒木組支部

支部長 藤原健志(昭和55年建築科)

工友会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成20年度工友会総会及び懇親会を平成20年7月13日(日)岡山プラザホテルに於いて、私どもの支部が担当させていただきますました。当日は快晴の中、175名のご出席をいただき、盛大に開催することができました。ご出席いただきました会員の皆様、また、試験中のお忙しい中、小林校長をはじめ来賓の先生の方のご出席、本当にありがとうございました。何かと至らぬ部分があったとは思いますが、ご容赦をお願いしたいと思っております。また、残念ながら都合等によりご出席いただけませんでした会員の皆様におかれましても、今後の総会には出来るだけ多くの皆様のご出席を賜ります様、お願い申し上げます。

総会は、山本工友会会長、小林校長のご挨拶で始まり、選出された岸本議長のご挨拶により議事に入り、会員皆様のご協力により、全ての議事についてご審議をいただき、滞りなく審議を終えることができました。

1. 平成19年度会務及び事業報告
2. 平成19年度決算報告及び監査報告
3. 役員改選
4. 平成20年度会務及び事業計画(案)審議

5. 平成20年度予算(案)審議
6. その他(役員・支部一覽表について、賛助会員について、叙勲褒章の受章者紹介、平成21年度担当支部紹介)

また、議事終了後、山内新会長より叙勲受章者へのお祝いの品の贈呈及びご挨拶と次期担当支部の倉敷市役所支部・高原支部長のご挨拶がありました。尚、叙勲受章者の方は次の通りです。

榎枝郁雄様(昭和31年機械科卒 元県自動車整備振興会 副会長)が、旭日双光章を受章されました。叙勲受章者の榎枝郁雄様におかれましては、工友会員としてこの荣誉に對し誇りに思います。本当におめでとうございました。

また、長年に渡り、工友会会長としてご尽力を賜りました、山本 鴻前会長に對しましては、心より感謝を申し上げますと共に、山内静男新会長におかれましては、工友会の益々の発展にご尽力頂きます様、お願い申し上げます。

総会終了後、同会場にて集合写真撮影の後、懇親会に移り、開会宣言・鏡開き。高原副会長による乾杯により懇親会が始まりました。交流タイムに続き、学校の紹介DVDにて現在の母校の様子を見ていただき、地頭代副会長指揮による出席者全員による校歌斉唱、岸本副会長による閉会の挨拶、田中副会長による三本締

めにより解散いたしました。お帰りの際には、集合写真を全員にお配りさせていただきますました。参加していただいた会員の皆様の笑顔を拝見させていただいただけで、支部会員一同苦勞が報われた感じがいたしました。また、各テーブルにご挨拶にお伺いさせていただいた時に、たくさんのおねぎらいのお言葉をいただき、今回お手伝いさせていただいて本当に良かったと思えました。

今回、工友会総会及び懇親会を担当させていただいたわけですが、私自身前回の担当の時は、一支部員として走り回っているうちに終わってしまったという感じでしたが、今回支部長として会全体を準備していく中において、仕事との折り合いであるとか、学校事務局やホテルとの調整、支部員間の調整等、試行錯誤の連続ではありましたが、学校事務局の皆様やプラザホテルの皆様、前回担当支部であるアイサワ工業支部様、あじさいの会の皆様のご協力により、無事に終えることができました。

最後になりましたが、関係皆様のご協力ありがとうございました。心より感謝申し上げます。今回ほど工友会会員の絆の深さを感じたことはありませんでした。この経験を次期担当支部である倉敷市役所支部様に伝えていきたいと思っております。今後におかれましても工友会の益々の発展と工友会会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、措辞では御座いますが、お礼の挨拶とさせていただきます。

支部だより

● 関東支部 ●

事務局長
池口健児
(昭和34年機械科卒)

工友会の皆様には、ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。関東支部は、四月二十日、お茶の水にて総会を開きました。参加者は、十一名で例年になく少なく時の流れを感じました。

- 今後の活動について話し合われ
- 一、次年度の総会の案内は限定し發送。

- 一、年会費(千円)の徴収は中止する。
- 一、新卒者の上京情報は(個人情報)の規制の観点から積極的に入手しない。

一、支部会報は発行を中止する。
又、当支部の名譽会員に秋山昌弘氏(昭和18年土木科卒)が推薦承認されました。支部の解消存続の意味を含め従来の形を変え、今度はそれぞれのグループ、職域単位の活動になると思えます。

最後にになりましたが、工友会の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



● 大阪支部 ●

(岡友会)
事務局長
高橋紀二
(昭和33年工業化学科卒)

次回大阪支部総会
日時：平成21年10月24日(土)

工友会会員の皆様には、ご健勝で活躍のことお慶び申し上げます。

平成20年度第28回岡友会(工友会大阪支部)総会が10月25日(土) 12時より大阪西梅田の「大阪ガーデンシティクラブ」にて開催されました。約40名の方がご参加され、久しぶりの再会を楽しんでおられました。

総会には、ご多忙の中ご来賓として工友会山内会長、母校小林校長先生、工友会事務局長の万波先生、岡山県大阪事務所長三宅様にご出席を頂きました。総会は為房岡友会会長(昭和25年化学科卒)より、「会員諸兄の交流の場として今後も岡友会活動を続けて行きたいと思えます」との挨拶で始まりました。

山内会長からは、去る7月に工友会総会が「荒木組」支部の担当で盛大に開催され、山本前会長が勇退され、新会長に就任されての抱負・近況報告がありました。小林校長先生より、指導先生、学生諸君が「IT関連技術」ですばらしい成



第28回 岡友会総会 「大阪ガーデンシティクラブ」にて

果を出しているお話をまじえてのご報告とご挨拶を頂きました。

万波先生(事務局長)より、「本部工友会会報の充実を図る外、工友会名簿(2009年版)の発行を計画中で調査を開始する」との報告とともに学校行事等がスクリーン上に写し出され鑑賞致しました。

三宅岡山県大阪事務所長より、大阪市中央区に岡山県大阪事務所があり岡山県の発展を期して関西方面で活動している等々のお話を頂きました。総会開始前に幹事会が開催され、取り組み事項、役員改選等の原案が話し合わせられ、総会に諮られます。

「議事」に入り、岡友会事務局より会員動静等の事務報告、続いて会計収支報告、

会計監査報告がなされ、報告内容が承認されました。

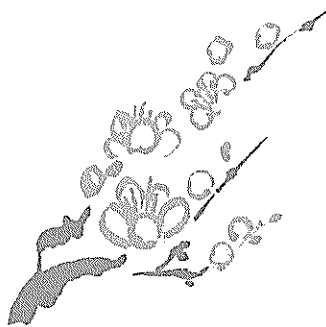
今年度は、役員改選年にあたり、為房会長が勇退されて副会長の佐藤忠司(昭和32年土木科卒)さんが会長、幹事太田一朗(昭和35年化学科卒)さんが副会長に、幹事に大西淳子(昭和36年化学科卒)さんが就任され、他の役員さんは全員留任となり新体制が決まりました。

無事に総会を終え、為房前会長の乾杯の音頭で懇親会に入り、会では還暦を迎えられた会員に“杯”を贈ることになっており、今年も贈呈されました。

毎年の事ながら、卒業年次、科別の違いはありますが同窓のよしみで、ご来賓の山内会長を囲み、家族、仕事、趣味、想い出話等に花が咲き、お昼の一時を楽しく過ごしました。

時が過ぎ、岡工校歌「東天燃える紅の」を意気軒昂に歌いあげ、お互い健康には十分留意して来年の再会を約し散会となりました。

第28回岡友会(工友会大阪支部)総会が無事終了したことを支部報告と致します。



● 広島支部 ●

支部長
伊丹 剛

(昭和26年土木科卒)

次回広島支部総会

日時：平成21年6月6日(土) 11:00～
場所：ホテルセンチュリー 21 広島

工友会員の皆様にはご健勝にてご活躍の事とお慶びを申し上げます。

広島支部は広島・山口・島根県に在住している卒業生を支部会員としています。

平成二十年度の支部総会は六月七日に「ホテルセンチュリー 21 広島」で開催され、工友会本部から山本会長、万波事務局長、母校より小林校長のご臨席を賜り支部会員十一名が出席して開会いたしました。

総会ではご来賓の皆様から工友会本部の活動や他支部の近況、母校の現状、事務局よりお知らせとご報告等のお話しを頂きました。

議事に入り平成十九年度の会務報告と会計監査報告が承認され、役員改選に移り新支部長に服部芳弘(昭和29年土木科卒)、幹事に赤松義之(昭和37年電子科卒)、会計監査に清水千備(昭和33年機械科卒)氏が新役員として選任されました。前支部長の伊丹剛(昭和26年土木科卒)と黒崎万亀夫(昭和17年土木科卒)氏は、顧は就任し支部の発展にご尽力を賜ること

になりました。この度、勇退された会計監査役北口和秋様(昭和21年機械科卒)の支部へのご功績に対し会員一同、深く感謝申し上げます。

引き続き新役員にて平成二十年度の事業計画及び予算計画が審議され承認されました。その他、支部の活性化を図るため青年部設立について提案があり、具体化に向けて準備を始めることを決議し閉会いたしました。

その後、懇親会に移り河原克平顧問(昭和13年土木科卒)による乾杯の音頭で始まりご来賓のスピーチや有志による余興など和やかなひと時を過ごし来年の再会を約し閉会いたしました。

その他、支部行事としては新年会を二月、暑気払いを八月、ゴルフ仲間での「岡広会」取切り戦を十月に実施し今年度は、三近秀樹氏(昭和35年建築科卒)が優勝し支部会員の親睦を図りました。

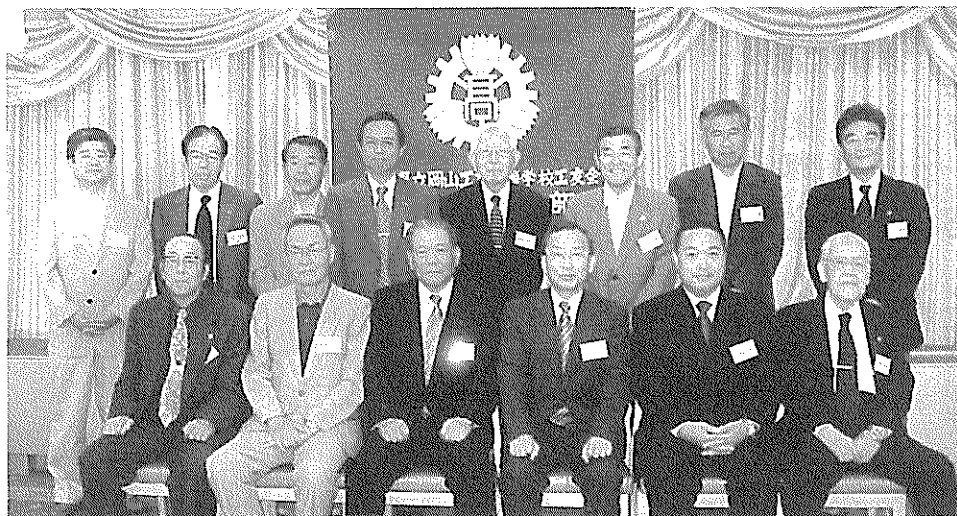
最後に工友会員の健勝と母校のご繁栄をお祈り申し上げます。

追伸 新広島支部長のご挨拶

広島支部長の指名を受けました服部芳弘(昭和29年土木科卒)でございます。何卒宜しくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当支部管内在住の会員数は約二百十名であります。内、支部運営経費(年会費)納入について約三割の方に賛同を頂き、又、各種親睦

行事に参加される方は一割程度であります。これらの数値は年々減少傾向が見受けられ、会の活性化は引き続き大きなテーマと考えます。そこで、「青年部」設立の提案もこのような思いから若い人の参加をよりしやすく、又楽しい場を提供できればと模索している次第であります。工友各位のお知恵を拝借できれば幸いです。



広島支部総会「ホテルセンチュリー 21 広島」にて



● **女性支部** ●
 (あじさいの会)
 支部長
鳥越 隼
 (昭和33年工業化学科卒)

工友会会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

女性支部(あじさいの会)は支部設立二十周年記念総会を、平成二十年六月八日に岡山駅前みよしのに於て開催いたしました。当日は、工友会より武市顧問・高原副会長、母校より万波先生のご臨席を賜り、大阪・神戸からご出席下さった会員を含め総勢十八名となりました。総会では、ご来賓の皆様から心温まるご祝辞を頂き、続いての平成十九年度事業報告・会計報告等の議事もスムーズに終えました。思い思いに活けられた紫陽花に囲まれての懇親会では、お食事を共にしながら、自己紹介・近況報告など、いつものように親しく、楽しくまた賑やかに歓談いたしました。お若い方二名の初参加に大変元気を頂き、これからの展開が期待された総会でありました。

七月十三日岡山ブラザホテルにて開催の平成二十年度工友会総会には、当支部より十一名が出席し、皆様と楽しく親睦を深めさせて頂きました。終了後は場所



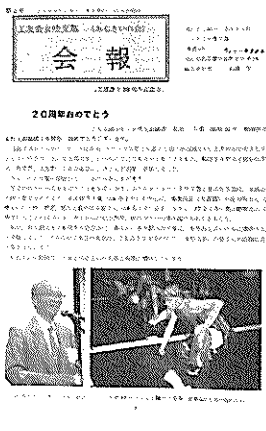
女性支部(あじさいの会) 岡山駅前みよしのにて

を移して談笑いたしました。

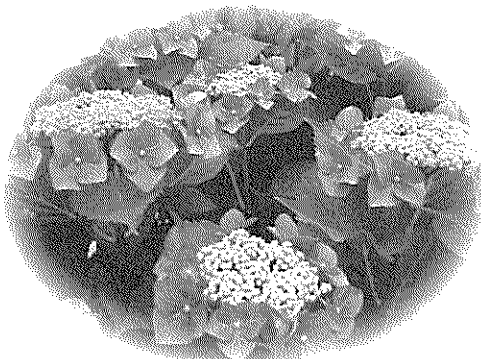
十一月八日の岡工祭では、女性支部はじめ工友会の皆様の作品展を行いました。卒業生のために設けられた一室を、色々な作品で満杯にしたいと願っております。今秋の岡工祭へのご出品をよろしくお願いたします。

一昨年創刊した「女性支部会報」の第二号は、支部設立二十周年記念号として内容を充実し、A4判・十三頁で平成二十年十月一日に発行しました。高原副会長はじめ昭和三十二年卒より平成十四年度卒までの幾世代にも及ぶ会員十二名が寄稿下さり、読み応えのある楽しい会報となりました。「二十年の歩み」をまと

めた年表と写真は、その折々の活動が思い起こされ、懐かしさ一入でございます。この会報が核となり女性支部の一層の前進が計られますよう、変わらぬご指導とお力添えをお願い申し上げます。



支部設立20周年記念



岡工理科棟前に咲くあじさい

長年のご功績に対する栄えあるご受勲、
 叙勲受章者
 心よりお祝い申し上げます。

本年度秋

黄綬褒章 榎田 修

昭和31年
 機械科卒

旭日小綬章 山岡治喜

昭和32年
 土木科卒

瑞宝双光章 頼正利生

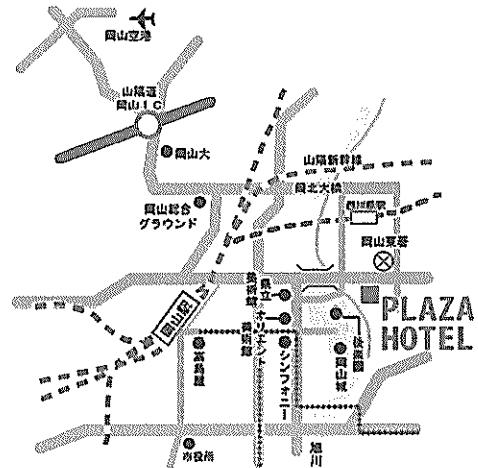
昭和32年
 機械科卒

瑞宝单光章 湯浅重男

昭和34年
 機械科卒

平成21年度工友会総会の案内

担当支部 倉敷市役所支部
 支部長 高原 健次
 日時 平成21年7月12日(日)10時より
 場所 岡山プラザホテル
 電話 086-272-1201



「工友会会報協力金」ご協力のお願い

早春の候、工友会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
 工友会会報第50号が出来上がりましたので、お届けいたします。

平成18年度より、全ての会員の皆様に送付させていただいており、母校の現在の様子をお知り置きいただくと共に、会報が工友会の更なる活性化と皆様方の交流の場として役立つことを祈っております。

さて、工友会会報の発行をはじめとする本会の事業は、皆様方からの賛助会費や協力金によって成り立っております。これからも全員の皆様に工友会会報をお届けし、内容を充実させるためには、皆様方の暖かいご支援とご協力が不可欠であり、ご厚志を賜りたくお願いする次第でございます。

つきましては、何卒趣旨をご賢察の上、同封の振込用紙にて「工友会会報発行協力金」(2,000円)の振込みにご協力いただきますようお願い申し上げます。

岡山県立岡山工業高等学校工友会会長 山内静男

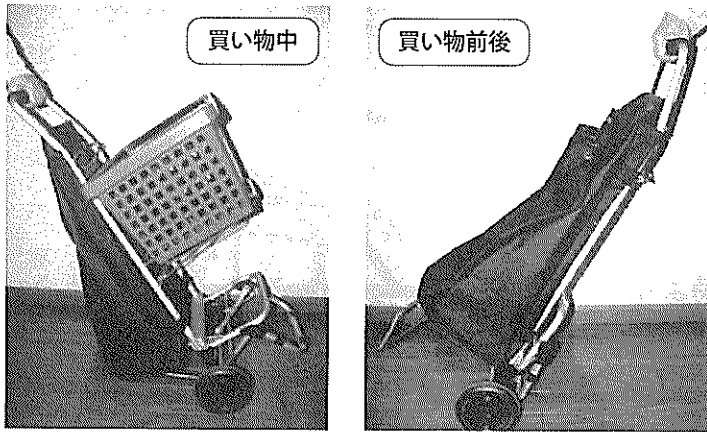
工友会会報決算報告

平成 19 年度	平成 20 年度
発送数……19,051 件	発送数……18,152 件
入金件数……1,669 件	入金件数……1,639 件
入金額…3,352,890 円	入金額…3,208,301 円

※現在の会報発送事業も三年目を迎えています。皆様の温かいご支援で、この事業に関わるすべての経費をまかなうことができている。いくらかの精算金につきましては、110周年などの今後の工友会活動に充てていきたいと思っております。今後とも、よろしくようお願い申し上げます。

工友会事務局

発明協会東京支部賞 受賞



出品名称「ショッピングカート」

今までのショッピングカートを店内に持ち込み、更に店内のカート（又はカゴ）を利用しようとすると、両手が塞がるので買い物がし難い。そこで、本発明のショッピングカートは、店内のカートを使用せず、店内のカゴを本発明のショッピングカートに載せて買い物をする構造にした。

また、精算時にはレジ袋が不要である。精算終了時に、買ったものをカゴから袋に移動する場合には可動脚が最適の位置に移動している構造であるから、ショッピングカートは転倒しない。しかも、若者好みのデザインでもある。

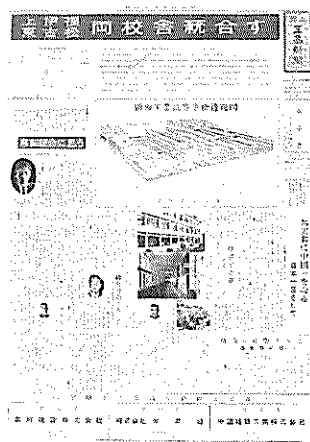
東京発明展は、発明協会が東京で主催する発明展です。昨年は10月25・26日の2日間、東京都立産業貿易センター浜松町館2階で開催されました。私はその発明展に出品した「ショッピングカート」で「発明協会東京支部賞」を受賞しました。現在販売されているショッピングカートは、使ってみると意外に不便なもので、特に、スーパーマーケットに持ち込んで使うようには設計されていま

せん。スーパー店内で買い物をしている時には邪魔になります。買い物を済ませ、精算をしたあとで、レジ袋に入れた物を家まで運ぶ時に、初めて役に立つように作られています。そこで私は、スーパーの店内で役立つように、店内に置かれたカゴを支持する機能を持たせたショッピングカートを発明して試作品を作り、その特許権を取得しました。そして、試運転をして発見した欠点を改良し、改良

品の特許も取得して東京発明展に出品しました。そもそも出展の目的は特許権の実施許諾をすることでしたが、現在のところメーカーの目に留まることなく「休眠特許」として埋もれたままです。内容をお知りになりたい方はインターネットで「2007東京発明展」と入力して検索し、「バーチャル展示会」をクリックして頂ければ発明の内容が御覧になれます。

東京発明展に出展して

昭和35年機械科卒 小野祐資



昭和三十五年 岡工新聞

旧職員の思い出

母校での

二十四年



元情報技術科科長 現工友会副会長

地頭代 紘史

(昭三十七電子科卒)

工友会の皆様には益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。私は昭和三十七年に電子科一期生として岡工を卒業し、昭和四十七年一月の三学期から母校に勤務しました。十年ぶりの岡工は本館講堂など木造の懐かしい建物が残っていましたが機械・建築棟、化工棟など新しい建物が建ちグラウンドも整備されていました。恩師の渡辺省吾先生、安井三郎先生、秋山一磨先生、吉田貞夫先生、深井英治先生が居られる職場で働くことになり心強い反面しつかりやらなければと思う気持ちでいっぱいでした。

授業での電子科生徒はそれぞれが高い目標を持ち、それに向けてよく勉強している感じを受けました。そして彼らの多くは一流企業へ就職していきま

ました。授業以外で関わったのが電子科担当の校内放送でした。本館や実習棟などの増改築で複雑になった回線の整備や学年ごとに校内放送を利用したLHRの実施などを目的として何度か放送機器や回線の改修が行われました。仕様などは科に委ねられるが業者選定などの権限はなく便利になったものの技術的に不足などところが

あり残念でした。また普段何事もなかった放送設備が何故か二年も続けて入試の日に壊れるというハプニングがありアンプの差し替えなどで事なきを得ましたが、本当に肝を冷やした出来事でした。

パソコンが発売された一年後の昭和五十五年秋「マイクコンピュータの応用研究」で岡山大学へ半年間内地留学をさせて頂きました。おかげで高価なマイコンボードを買うことなくユニバーサル基板を使ってマイコンボードを自作出来ました。これはマイコン制御の勉強に役立ち、実習や製図の教材にも利用出来ました。

昭和五十七年から担任を組んだ石井義晃先生との思い出。二年生全員の家訪訪問を実施、これは指導上大いに役立ちました。また修学旅行では普段見られない宮崎のリニアモーターカーや鹿児島にある宇宙センターに行き最先端技術を見学させました。翌年三年になった生徒は体育祭で電子科を全校優勝に導きました。

昭和六十二年四月市立岡山工業高校に転勤。昼仕事をし、夜疲れた身体で学びに来る生徒たちと向き合い、岡工を外から見ることが出来ました。この七年間は教員として貴重な体験でした。

平成六年四月再び岡工へ転勤。退職される吉田貞夫先生の後を引き受けることになり親切に引継ぎをして頂いて感無量でした。その年の三年生は電子科最後の三十四期生、二年生は情報技術科一期生でした。ここで三年生の息子を教えることになりましたが、何とか一年間を他人で貰えました。三十四期生が三月に卒業し一期生

の私には感慨深いことでした。電子科棟やアンテナ塔の解体も寂しく思えたが、その後立派な情報技術科棟が建てられました。情報技術科になりIT関連の科目が増え、副読本が大いに活用されました。生徒も次第に多様になり女子生徒も増えて来たが男子に引けを取らぬ者も多くいました。

平成七年三月教頭先生から「一年だけ工友会事務局長を」と言われて引き受けました。何も分らないまま無我夢中の一年でしたが皆様には大変ご迷惑をお掛けしたことと思います。次の年も校長先生からお声がかかり、以後平成十四年まで事務局長を務めさせて頂きました。その間には岡工創立百周年を迎えることになり忙しい毎日でした。

平成九年に実行委員会が発足し創立百周年記念事業の成功に向けて以後度々会議が開かれました。平成十三年十月十日市民会館において創立百周年記念式典が挙行され、その後会場をプラザホテルに移して記念祝賀会が開催されました。母校を思う多くの皆様と共に創立百周年を祝うことが出来て感激しました。翌年十月十日會員皆様の熱意によってバブル崩壊後のどん底景気にも拘わらず立派な百周年記念会館が完成し、竣工式を迎えることが出来ました。現在、生徒・教職員のみならず県

下工業教育のために広く利用されています。秋原会長の母校と工友会を思われる気持ちに敬服しました。また杉田校長先生、桑原教頭先生のお骨折りに感謝しています。平田稔(土三三六卒)先生と募金活動

に走り回ったのも懐かしい思い出です。工友会事務局長をさせて頂いて多くの皆様との出会いがあり様々な経験が出来たことが私の人生の大きな財産になりました。

平成十三年から情報技術科長を拝命、併せて全国電子工業教育研究会の理事になりました。翌年八月開催の全国電子工研岡山大会の事務局長として大会運営に関わり、当日は司会・進行を担当しました。電気系部会の多くの先生にご協力を頂いて盛会に終わることが出来ました。この頃は下校が十時を過ぎることもあったが充実した毎日でした。

平成十六年三月三十一日思い出多き岡工を卒業しました。多くの方々にご指導頂き、また支えて頂いて楽しい教員生活を送

卒業生の思い出

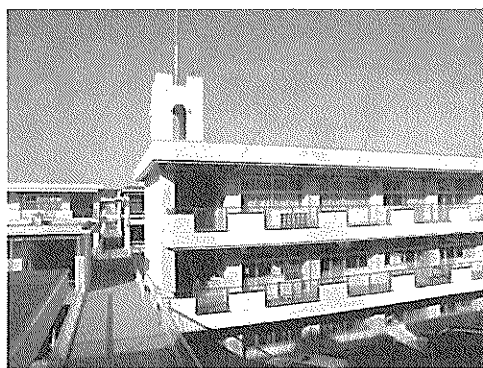
岡工で過ごした3年間

平成2年工業デザイン科卒 島村麻希(旧姓 北澤)

卒業して随分経ちますが、今でも心の一部を岡工に置いてきているような気がします。

皆さんが岡工受験を決めたのはいつでしたか?私には父親の仕事仲間として、身近に岡工の建築科卒の方が大勢いました。幼いころから絵を描くことが好きだった私に周りの大人たちは「岡工の工業デザイン科に行けばいい。あそこなら思いっきり絵が描けるで。」と教えてくれました。「私は岡工の工業デザイン科に行くんだ。」幼稚園児だった私の心

れたことに本当に感謝しています。最後になりましたが母校岡工と工友会の益々の発展、そして會員皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。



情報技術科実習棟

に岡工が刻まれました。

当時の工業デザイン科は倍率も高く難関なところでしたが、「幼稚園の頃からここに通うと決めているのに受からないわけがない」と根拠のない自信に充ち溢れていた私は、運よく合格する事ができました。

10年以上思い焦がれて入学した岡工なのに、通えるのは3年間。休むなんてもったいなくて、課題で半徹夜した翌朝でも、B1サイズのパネルを抱えて自転車に乗り、島田の地下道を爆走して通学



1990年 岡工祭

しました。

岡工祭ではクラス演劇のためにオリジナルの脚本を書き、衣装を作り、嫌がる同級生たちをなだめすかして練習をしました。雪を降らすために舞台の梁に登り、あまりの高さに足がすくんで以来、高所は苦手です。

生徒会役員として行事のたびに走り回り、遅くまで話し合い、お腹がすけばサークルKかローソンでパンやお菓子を買いました。

岡工の先生方はとても個性的で、それぞれクセがあり魅力がありました。私た

ちは先生方を振り回しましたが、私たち

も先生方に振り回されたと思っていません。工業デザイン科では同じメンバーで3年間を過ごしました。中学校までは自分より絵が描ける人間を知らなかったような子供たちが集まり、「上には上がいるもんだ」と洗礼を受け、刺激を与えあいながら成長していける場所でした。大小さまざまなトラブルが起こり、イベントをこなし、恋をしたり進路を決めたり、とても濃密な3年間を過ごすことができました。

私たちの在校中に創立90周年を迎え、最後の制服組となり、1つ下の学年から現在のブレザーに変わりました。その後、工業デザイン科はデザイン科に名称変更となり、私たちがホームルーム教室を間借りしていた夜間の市立高校も無くなりました。西警察署も移転し、私たちの台所だったローソンやサークルKも無くなりました。当時の恩師たちも退職されたり、他校へ移られて、私も10年以上、岡工に足が向いていませんでした。

それでも卒業後、定期的に開催している同窓会には毎回、恩師と半数以上のクラスメイトが集まってくれます。そのたびに岡工生活が鮮烈に思い出されて「あの3年間は夢ではなかったんだ。」と噛みしめることができます。

先日久々に岡工へ遊びに行きました。懐かしい先生方と再会でき、その折に今回の原稿のお話を頂きました。岡工の思い出をこのような形で書くことができ、大変うれしく思っています。

目指し続けたもの

電気科3年 平田幹雄

私たちは、インターハイを目指して日々練習に励んでいました。そして、3年生の県総体で優勝し第53回全国高等学校弓道大会に団体の部で17年ぶりに出場することができました。ひとえに、顧問の先生をはじめとして諸先輩方そして今年転勤された大野先生、家族と多くの人々の支えと指導のおかげだと感謝しております。

私は、入学して弓道に初めて出会いました。練習は思った以上に長時間でしたが、自分自身が集中する時間はわずかなものです。そして、試合に出られるのは2年生の夏からの約1年間だけです。その限られた時間に一生懸命に練習に打ち込みました。矢を射て的を狙うのではなく、矢が自然に離れるまで待つという感覚を身につけなければなりません。それから3年生が引退し、部長を任されることになりましたが思うような成績を残すことができませんでした。3年生になって大野先生が転勤されて、みんなの心がひとつにまとまらないこともありましたが最後は、多くの仲間達の助けと協力で一つになることができました。

そして、インターハイ出場を賭ける大会では、みんなが一つの目標に向かって集中し自分自身の持っている力を十分に発揮することができ、インターハイへの

切符を勝ち取ることができました。しかし、大舞台でベスト16を目標としていましたが、決勝リーグには進出したものの、一歩及ばず一回戦で敗退してしまいました。この悔しさを噛み締めつつも、だんだんと笑顔に戻り充実感と感謝の気持ちに変わっていったのを覚えています。

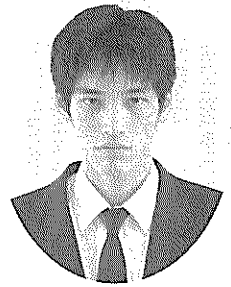
そして、出場できなかった部員のみならず岡工弓道部の自覚と誇りを持って歩んでいってもらいたいです。また、後輩には、目標に向かって努力をすれば良い結果がついてくると思うので頑張ってください。

この岡山工業高校から全国で活躍する後輩が出ることを祈っています。



第53回 全国高等学校弓道大会

第59期 生徒会長



神原直也
化学工学科3年

僕が生徒会長として過ごしたこの一年間は、今まで経験したことのないような忙しさと充実感でいっぱいでした。最高学年として、学校の生徒代表として、様々な行事に取り組んだことは僕の一生の思い出です。今回この文には僕の生徒会長としての経験と、現在の心境について記させていただきます。

僕は二年生の冬に生徒会長に立候補いたしました。恥ずかしながら、当時は特別な志などもなく、ただ誰かがやらなければならぬのなら自分がやってみようと思ったのが始まりでした。

選挙は無事に当選し、僕は生徒会執行部の仲間たちと共に活動することになりました。現在、生徒会執行部は生徒会長・副会長・自らの意志で入部した執行部員を中心に、学校行事の企画・運営を行っています。どんな行事も一人の力だけでは絶対に成功しません。だから僕たちは、互いに協力し合い、チームとしての活動を心がけてきました。

しかし、今期に入ると大きくメンバーが替わったということもあり、最初のうちは仲間同士でも上手くコミュニケーションを取ることができません

でした。僕自身も生徒会長としての職務に没頭するあまり、新しいメンバーとなかなかうち解けることができず、行事が近づいても部内で「報告・連絡・相談」ができていないことがありました。そのような状態で年間最大の行事である岡工祭の準備が始まりました。岡工祭の準備には執行部だけでなく、様々な団体が参加することになっていたのですが僕は不安で仕方がありませんでした。しかし、そんな不安を解消してくれたのは他ならぬ執行部の仲間たちでした。忙しくなるにつれて、みんなそれぞれ自分の役割を確認し、助け合い、お互いをサポートできるようになりました。

他の団体の皆様の協力もあり、僕たちは力を合わせて大きな行事を成功させることができました。もちろん、ここに至るまでは思うとおりに事が進まず苦しい思いもしましたが、僕は岡工祭という行事に取り組むことで、改めて協力することの大切さとすばらしさを実感いたしました。

そして、現在は生徒会長最後の仕事として来年度の執行部のために引き継ぎを行っております。僕は本当にたくさんの方々を支えられ、今日まで会長として過ごすことができたと思います。来年度の後輩たちにも、仕事の内容だけでなくみなで協力して取り組むことの素晴らしさを伝えていきたいと思っています。



少林寺拳法部全国大会6位入賞

少林寺拳法部顧問
大田原 和宏

少林寺拳法全国大会表彰式で岡工の選手の名前が呼ばれた。選手たちは少しびっくりした様子で立ち上がり、これまでの修練の涙を拭拭するような満面の笑顔がこぼれた。

平成20年11月2日少林寺拳法全国大会において一般男子組演武の初段の部で守屋秀紀(化工3年)、森安将太(土木2年)組が6位に入賞した。この大会は社会人、大学生に混じり競技する大会である。演武は1分30秒〜2分の間で披露します。日頃習得した技術の組み合わせと緩急自在の演練によって、正確な技の切れ味、気迫、豪快さ、あるいは華麗さを表現します。修練によって一挙手一動作、その攻防に緊迫感が出て、あたかも作曲家が音符を五線紙に配することによって人生の歓びや悲しみを歌い上げられるように演武の中に「心」が入ってきます。修練の過程のなかでお互いが切磋琢磨し、悩み、譲り合い、我慢し、励まし合い、苦労した経験がその中に凝縮されます。

実は、7月に行われた全国大会の予選会(県大会)出場を辞退するつもりでした。森安が膝を故障、10日前に手術し、今は無理をせず8月の全国高校大会に備えたからだ。辞退を勧めたところ森安が「先輩(守屋)のために出させてください！」と直訴してきた。指導者としては選択が間違っていたかもしれないが、主治医に許可をもらい出場させた。結果は県大会を1位で通過し今回の全国大会の出場権を得た。

全国大会の決勝は晴れ舞台でもあるが、緊迫した異様な空気に包まれる。しかし、守屋は「楽しむこと」を心がけ、森安は「先輩のために」という思いで決勝に臨んだ。彼らは、技のキレ、気迫共に今までで最高の演武を披露し、少林寺拳法の教えである「自他共楽」を体現した結果が今回の成果につながったと思う。



全国大会

後輩の活躍 2008

○各科の入賞
機械科
技術・技能者への挑戦 技能検定
機械保全作業3級

普通旋盤作業3級
西野紘生(機2)銅賞
森 啓太(機2)
スライス盤作業3級
森谷 匡

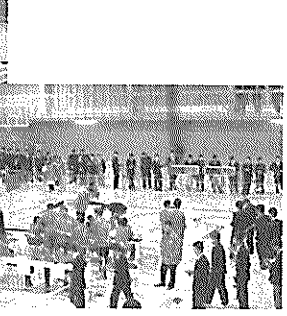
溶接技術評価試験(基本級)
福田悦及(機3)
吉澤 裕(機3)
樽角康平(機1)

土木科
高校生ものづくりコンテスト測量部門
岡山県大会1位
小西佑季 高橋健太 沼本 拓(主3)
高校生ものづくりコンテスト測量部門
中国大会3位
小西佑季 高橋健太 沼本 拓(主3)
第44回岡山県測量技術競技会
平坂の部3位
中村雄哉 藤森龍太 山本 凌(主1)
第25回中国地区測量技術競技会
平坂の部3位
中村雄哉 藤森龍太 山本 凌(主1)

化学工学科
平成20年度高校生ものづくりコンテスト
化学分析部門
岡山県大会
1位 堀 寛晃(化3)
2位 三田寛大(化3)
平成20年度春季書行表彰
化学工学科研究同好会

電気科
高校生ものづくりコンテスト電子回路
岡山県大会3位 松田 洋(電2)
仁科芳雄博士顕彰事業ロボコンテスト
3位 坂元洋友 松田 洋(電2)
津山ロボコンテスト参加団体32チーム

マイコンカーラリー中国大会 (会場:岡工体育館)



2位 3年生チーム
4位 2年生チーム
2008ジャパンマイコンカーラリー
中国地区大会
団体 2位 岡工電気科参加団体33校
個人 3位 松田 洋(電2)
4位 岡田祐樹(電3)
7位 長谷裕希(電3)

デザイン科
仁科芳雄博士顕彰事業ロボコンポスター
最優秀賞 秋田菜摘(デ2)
優秀賞 三宅梨央(デ2)
覚せい剤等薬物乱用防止啓発用ポスター
警察本部長賞 板野宏実(デ3)
保健福祉部長賞 出井里奈(デ3)
岡山県覚せい剤等薬物乱用対策推進本部長賞
井上恵子(デ3)
国際化対策推進広報用ポスター
住作 山奥淳史(デ3)
明るい選挙啓発ポスター
委員長賞 佐藤田維(デ2)
平成20年度 第44回岡山県高等学校教育協会
建築系部会設計製図競技

情報科
3級機械保全(電気係保全作業)
井戸達也(情2)岡山県知事賞
佳作
濱田博巳(電3)
笠原菜奈未(建3)
岡山県建築士会会長賞 平岡菜摘(建3)
平成20年度 第15回ワンデーエクスサイズ
特別賞
(岡山工業高等学校3年チーム)
鴨野 佑 植木俊一 塩田博巳
堀田隼矢 道廣拓史 吉田憲治
笠原菜奈未 久本八美 平岡
菜摘
特別賞
(岡山工業高等学校2年チーム)
入江剛生 香西森太郎 佐藤
正俊 杉田研夢

□部活動成績
野球部
全国高等学校野球選手権岡山大会
応援の部 優秀賞
ボクシング部
全国高等学校ボクシング選手権大会
フライ級 ベスト8 金中孝児(主2)
ライト級 ベスト8 志渡澤和広(主2)
国民体育大会中国ブロック大会
ライト級 1位 志渡澤和広(主2)
自転車競技部
岡山県高校自転車競技秋季大会
学校対抗 優勝
4kmチームパシシュート 1位
チームスプリント 1位
岡山県高等学校自転車競技選手権大会
ポイントレース 1位
田邊真也(機3)

測量同好会
高校生ものづくりコンテスト測量部門
中国大会 3位
岡山県大会 1位
中国地区測量競技大会
平坂の部 3位

吹奏楽部
岡山県吹奏楽コンクール
小編成の部 金賞
水泳部
岡山県高等学校新人水泳競技会
男子800m自由形
1位 山根圭輔(化2)
男子400m自由形
1位 山根圭輔(化2)
ラグビー部
中国高等学校ラグビーフットボール大会
Bブロック 2位
岡山県高等学校総合体育大会
7人制の部 2位
バレーボール部
岡山県高等学校男女バレーボール選手権大会
3位
将棋部
岡山県高等学校夏季将棋大会
男子団体戦 4位
バスケットボール部
岡山県高校総合体育大会 ベスト8
弓道部
全国高等学校弓道大会予選会
男子団体 優勝
少林寺拳法部
岡山県高等学校総合体育大会
男子団体 2位
男子組演武
初段 1位 守屋秀紀(化3)
森安将太(主2)

陸上競技部
岡山県高等学校総合体育大会
200m 1位 徳永大地(機2)
100mハードル 2位 (黒田航太)
男子総合 3位
男子トラック競技の部 2位
小林寺拳法全国大会
男子組演武
初段 6位 守屋秀紀(化3)
森安将太(主2)

編集後記

関係者多数のご協力をいただき、第50号の会報を無事発行することができました。寄稿いただきました皆様方には厚くお礼申し上げます。本年度は、施設整備として2号館の耐震工事があり、引き続き来年度は1号館の工事に入ります。楽しみにされている岡工祭では、ご迷惑をかけることになりませんが、皆様のご来場を生徒・教員一同心よりお待ちしております。会報誌面充実のため充実した紙面にしたいと思っておりますので、各地の話題・会員の動静・同窓会の開催の報告などがありましたらお知らせ下さい。今後ともよろしくご協力いただきますようお願いいたします。



岡工祭 (雨にもかかわらず1万3,000名の来場でした)

ご意見・情報
お問い合わせは...
〒700-0013
岡山市伊福町4-3-92
岡山県立岡山工業高等学校
工友会事務局
tel:086-252-5231
fax:086-252-7130
http://www.okako.okayama-c.ed.jp/